









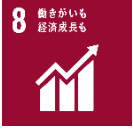









SDGs おおたスカイパートナー宣言書

(宛先)大田区長

私たちは、SDGsの内容を理解し、以下のとおり、大田区とともにSDGsの推進に取り組むことを宣言します。

<宣言日> 令和6年 10月 1日

事業者情報	
事業者名	一般社団法人ウォーターセーフティプロモーション
代表者 職・氏名	職名 代表理事
	氏名 植松 正樹
ホームページ URL (任意)	https://watersafetypromotion.org
事業者ロゴ (任意)	
事業者としての2030年のあるべき姿	
<ul style="list-style-type: none"> ● 公共スポーツビジネスに関わる法人として、最もホワイトな労働環境を提供できる法人になる。従事するスタッフが安心してキャリアを積める環境の構築することで、所持する専門的な知識や技術を社会課題の解決に寄与できるような法人になる。 ● 大田区の全公立小学校の水泳授業を行う際に、専門の研修を受けた指導補助員を配置することで、水泳授業下における安全の質を高め、今年高知県で起きたような事故が起きないように子どもたちの命を守る教育に繋げていく。また水泳授業の内容に最新の学習指導要領に追記された「安全確保につながる運動」の一環として、ライフジャケットの着用体験と取り扱いを学べる機会を設定していく。 	

これまでに取り組んでいる・これから取り組みたいSDGs 17のゴール・目標（複数選択可） （これまでに取り組んでいるゴール・目標：○ これから取り組みたいゴール・目標：●）					
					
○●			○●		
					
	○●				
					
	○●				

目標の達成に向けた取組内容等		
関連するゴールの数字を記入（複数記入可）	これまでの取組内容	これからの取組内容
1・8	1日7時間週35時間労働 最低賃金より100円以上高い時給	スタッフが働きやすい労働環境を継続、拡大していく為に、適切か価格で公共の業務を受注できるようにする
4・14	大田区内小学校での水泳指導補助業務を専門家として提供する ライフジャケットを活用した水辺の安全教育	取り組みを拡大していくことで、大田区の子ども達を水難事故から守っていく環境を創っていく